

平成27年度事業計画（案）及び事業指標（案）

項目	事業計画（案）	事業指標（案）
<p>1.依存症当事者及びその家族への専門的な相談、治療及び回復支援（医療機関に入院および通院している薬物依存症者に対する当事者支援専門プログラムの試行実施を含む）</p>	<p>① 依存症相談窓口の運営 大阪府立精神医療センター医療福祉相談室において、依存症相談窓口を設置し、相談支援を引き続き実施。コーディネーター、相談窓口担当が2名体制で行う。</p> <p>② 積極的な相談（ネットワークの構築と適切なコーディネート） ○医療機関・福祉機関・自助団体・公的機関等の特性（得意分野や受入条件の確認等）の把握。 ○相談者に最適なサービスの提供及び関係機関・関係団体等へのコーディネートの実施。 ○関係機関、関係団体等の内容、機能等のリストの作成 ○関係機関と医療機関の連携の効率化を図る情報連携シート（入院時、外来受診時、退院時、再発時等）の作成検討及び作成に向けた医療機関等からの情報収集。 ○アルコール依存症専門外来、病棟を有する病院への薬物依存症者の受入調査及び意見交換。</p> <p>③ 大阪府立精神医療センターにて、入院認知行動療法（入院ほちほち）、外来認知行動療法（外来ほちほち）の充実及びノウハウの更なる蓄積 ○入院認知行動療法（入院ほちほち） ・前年度に引き続いて、定期的に実施する。  ○外来認知行動療法（外来ほちほち） ・現在の3か月1クールを4か月1クールへ拡充。 ⇒プログラムに、POMS、QOLスケールを含めたオリエンテーション、レクリエーション、振り返り、自助グループ等との関わりを追加する方向で検討。 ・外来認知行動療法（外来ほちほち）の実施グループを1グループ追加。 ・家族向けテキストの作成の検討。 ・院内研修を実施し、認知行動療法に携わることができるスタッフの増加を目指す。</p> <p>④ 大阪府立精神医療センターにて、ギャンブル依存症の治療導入に向けた情報収集及び連携強化 ○ギャンブル治療を実施している医療機関からの情報収集（医療機関の現状と課題確認等） ○全国拠点機関が実施するギャンブル依存症関連研修会への参加。 ○弁護士会、司法書士会、いちよの会との連携体制の構築 ○教育機関との連携</p>	<p>・相談件数（26年度と比較して相談件数が増加しているか） ・相談経路（26年度と比較して相談経路が増加しているか） ・つなぎ（転帰）先（26年度と比較してつなぎ（転帰）先の機関等が増加しているか）</p> <p>・関係機関のコーディネート件数の増加 ・関係機関リスト ・アルコール依存症専門外来及び病棟を有する医療機関職員の認知行動療法プログラムの調査、意見交換件数</p> <p>・入院ほちほち 参加者数の増加 ・外来ほちほち 参加者数の増加 ・参加者に対して 心理検査を実施し、効果を測定。 ・認知行動療法に携わることができるスタッフ数の増加（26年度と比較して増加しているか）</p> <p>・ギャンブル依存症の相談・治療件数の増加 ・弁護士会、司法書士会、いちよの会からの相談件数、転帰件数 ・教育関係機関研修会等の実施件数</p>
<p>2.精神科医療機関等への助言・指導</p>	<p>① 医師の派遣体制の確保にむけて、継続して検討を行う。 また、依存症治療に取り組んでいる医療機関、関係機関等に対して、認知行動療法プログラム等のノウハウを伝える見学受入体制の整備と手順書の作成を行う。 見学時に依存症治療に取り組んでいる医療機関への認知行動療法（ほちほち）に関する意見交換を行う。</p>	<p>・手順書の作成 ・見学受け入れ時のアンケートの実施。 ・年度末に見学をした医療機関、関係機関等に対してアンケート実施。</p>
<p>3.関係機関（精神保健福祉センター、保健所、市町村、自助団体、福祉事務所、保護観察所、公共職業安定所等）との連携・調整</p>	<p>① 関係機関と医療機関の連携の効率化を図る情報連携シート（入院時、外来受診時、退院時、再発時等）の作成検討及び作成に向けた医療機関等からの情報収集【再掲】</p> <p>② 多機関、多団体、多職種での事例検討会の開催</p> <p>③ 弁護士会、司法書士会、いちよの会等の司法関係機関との連携体制の構築【再掲】</p> <p>④ 教育機関との連携【再掲】</p>	<p>② 事例検討会参加者の事前と事後にアンケートを実施し、効果測定。 ② 開催回数 ② 参加機関数 ③ 弁護士会、司法書士会、いちよの会からの相談件数、転帰件数 ④ 教育関係機関研修会等の実施件数【再掲】</p>
<p>4.医療従事者、関係機関職員、依存症当事者及びその家族等に対する研修の実施</p>	<p>① 関係機関職員及び医療機関職員向け研修の実施</p>	<p>① 研修前後にアンケートを実施して効果測定</p>
<p>5.依存症当事者及びその家族、地域住民等への普及啓発</p>	<p>① 薬物・アルコール・ギャンブル等の依存症に関する啓発、情報提供リーフレットの作成 ⇒司法機関との連携ツールにもできるような内容を盛り込んだお金の使い方に関する内容</p> <p>② 大阪府立精神医療センターのホームページ上で、依存症等に関する情報提供及び関係機関、関係団体等の広報協力 大阪府依存症対策推進協議会に係る事項の情報提供。 依存症関連の講演会、研修会、イベント等の情報を収集し、ホームページ上で情報提供。</p>	<p>①リーフレットの作成、配布機関数 ②HPアクセス数の変化（26年度との比較） ②情報掲載件数の変化（26年度との比較）</p>
<p>6.協議会の運営</p>	<p>① 第1回協議会 平成27年5月20日（水） 協議内容：平成27年度事業計画の策定 ② 第2回協議会 平成28年2月頃 協議内容：平成27年度事業報告、事業評価、平成28年度事業について</p>	
<p>7.協議会で定めた指標に必要な数値等の集計・整理（医療機関に入院及び通院中の薬物依存症者に対する当事者支援専門プログラムの試行実施の実績、効果、課題等について集約、検討を含む）</p>	<p>① 全国拠点機関、他の拠点機関と集計項目等の情報交換を実施する。</p>	
<p>8.その他依存症対策に必要な事項</p>	<p>① 大阪府立精神医療センターのホームページで当該事業の報告等 ② 報道機関への情報提供及び対応 ③ 厚生労働省・大阪府・全国拠点機関への提言</p>	